

2024年度 連合富山会長 年頭メッセージ

2024年1月5日
連合富山会長 浜守 秀樹

先ずもって、1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」により甚大な被害が確認されておりますことに、亡くなられた方にお悔やみを申し上げるとともに、被災された方々ならびにそのご家族に対し、心よりお見舞いを申し上げます。自然災害の猛威を痛感し、防災意識を高くもつことの重要性を改めて感じた次第です。一刻も早い復興を祈念するばかりです。

その一方で、震災発生直後から各所において、県民の命と生活を守り救うため、自らが被災されている中であっても様々な立場で懸命にご尽力いただいている関係各位に、心より敬意を表しますとともに感謝申し上げます。

余震が続く中ではありますが、一日も早い復興に向け、官民一丸となって対応していくことが重要であります。今後も長時間におよぶ対応が余儀なくされ、厳冬の中での作業となりますが、ご自身の安全と健康を最優先にご尽力いただきますようお願い致します。

このような状況に鑑み、開催を予定しておりました「連合富山2024新年祝賀会」は中止と判断致しました。関係各位にはご迷惑をおかけしますが、何卒ご理解のほど宜しくお願い致します。

改めまして、皆さま、新年明けましておめでとうございます。日頃からの連合富山の運動へのご理解とご支援に心よりお礼申し上げます。

年頭にあたりメッセージにて新年のご挨拶申し上げます。

<時代認識と連合富山の運動の基本的考え方>

現在、我が国は経済的な大きなリスクをかかえています。円安、エネルギー・食料品価格の高騰、そして世界でも、長期化するロシアによるウクライナ侵攻やイスラエル情勢の激化に伴う中東の不安定化、国際的な景気後退の懸念等、日本が今後どのような道を進むのかの岐路にたたされています。

私たち労働組合も、安心社会につながる政策・制度の実現に向け、今、何をなすべきか、熟思するべき時であり、これが今後の運動を方向づけていくものと考えます。

不安定な雇用の拡大、格差・貧困の広がり、労働人口の減少など、我が国の構造的な課題が深刻さを増す中、コロナ禍から経済が再生していく過程においても、「人材の確保・定着」と「人材育成」に向けた職場の基盤整備が重要であると考えます。

連合富山では、昨年で開催した第37回定期大会において「創り出す・守る・つなぐ」を基軸とした「2024-2025年度活動方針」を確立しました。

今日の時代背景を照らしあわせ「創る」べきこと、変化する環境下であっても「守る」べきこと、参加型の組合活動の継承により「つなぐ」べきことを基本的な考え方とし、皆さまと共に運動を推進していきたいと考えています。

これらの運動を推進するためには、これまで以上に幅広く、労福協・事業団体・行政・経営者団体・NPO等と連携を深めていくことが不可欠であると考えます。

未来にも安心が続く、持続可能な社会をめざし、引き続き、「社会」「暮らし」「職場」に共通する政策制度の改善を一層進め、組合員のサポート体制を充実させることで、運動をさらに推進してまいりますので、皆さまのご理解とご支援をお願い申し上げます。

< 2024 春季生活闘争について >

2023 闘争の取り組みを振り返ると、多くの組合で有額の賃金改善の回答を引き出すことができた春季生活闘争でありました。

コロナ禍や、原油を始めとするエネルギー価格の高騰などの値上げが相次ぐ、厳しい環境下での春闘でありましたが、その中で引き出された回答は、賃上げの流れを引き継いだものであり、組合員の雇用と暮らしを守るため、徹底的に企業労使間での議論が成された結果であったと理解をしています。

2024 闘争においても、水準の向上を基本とし、「底上げ・底支え」「格差是正」の取り組みを、明確な形で定義づけていくこととし、その先にあります「分配構造の転換につながる賃上げ」の実現をめざしていきたいと考えます。

そのためには、企業の90%以上が該当し全労働者の約7割を占める中小企業での賃上げをなんとしても実現しなければなりません。

2023 闘争では、賃上げの機運が中小企業での賃上げにもつながりましたが、2024 闘争こそ正念場であります。サプライチェーンの中で、原材料費やエネルギー価格の高騰分だけではなく、それぞれの企業で働く方々の労務費を含む価格転嫁が行われるか否かが、中小企業での賃上げの成否を分けるということ強く訴えていきたいと考えています。

これらを踏まえ、2024 闘争のポイントは、「労務費を含む適正な価格転嫁」それらの実現のための環境整備であるといえます。

そして、賃上げについても、各産業「底上げ」「底支え」「格差是正」の取組み強化を促す観点と、すべての働く人の生活を持続的に維持・向上させる転換点とする視点から、賃上げ分3%以上、定期昇給相当分を含む賃上げを5%以上の賃上げを目標とします。

これらの基本的考え方を踏まえて「賃上げ」「働き方の改善」「政策・制度」の取り組みを進めていきたいと考えています。

さらには、昨年同様に、ジェンダー平等・多様性の推進も大きな柱の一つと考えています。

多様性が尊重される社会の実現に向けて、性別をはじめ年齢、国籍、障がいの有無、就労形態など、様々な違いを持った人々がお互いを認め合い、やりがいを持って、ともに働き続けられる職場を実現するため、格差を是正するとともに、あらゆるハラスメント対策や差別禁止に取り組むこととします。

「賃上げ」や「働き方改革」はもちろんのこと、「安定した経済」「正しい産業の在り姿」という産業政策課題についても連合富山の運動、各構成組織の運動、各加盟組織との運動をリンクさせて、これらの、構造的課題に対して少しでも前進を図る取組みを強化していきたいと考えています。皆さまの、ご理解とご協力をお願い致します。

結びになりますが、連合富山は、これからも諸先輩たちの、意思をしっかりと引き継ぎ、「働くことを軸とする安心社会」の実現に向け、連合富山・労働者福祉事業協会・各事業団体が丸となって、勤労者の雇用・生活・福祉の向上に努めてきたいと思っております。

引き続き、皆様からのご支援・協力をお願い申し上げます。

そして、本年も皆様にとってのご多幸ご健勝をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶と致します。

以 上